

## ◀ 流通の過程あれこれと調べ ▶

農産物の流通状況をは握し、農業経済行政を推進するための必要な資料を得る目的で、6月1日で茨城県農産物流通調査が行なわれる。この調査は、昭和42年中の農産物のうち県が指定する15品目について、県内地域間での交流状況および県外との移出入状況について、その数量と価格等についてとらえようとするのである。

農畜産物の流過程は、複雑であつて調査も非常にむづかしいわけだが、それだけにこの調査の結果には大きな期待がよせられている。

## ◀ ルート追う農畜産物の流れ ▶

農産物流通調査は、県下各市町村の調査員376人によつて流通業者による農産物の流通状況が調査され、6月中に取りまとめが終り、10月公表を目指して諸般の事務が進められている。

商品が生産され消費者の手にわたるまでの過程が流通過程であり、この過程に多くの流通業者があつて物資の集配に従事している。その代表的なものが商業者で、物の集配(買付け、売捌き)や仲介などの行ない、このほかに輸送、保管、仕分け、包装や情報伝達などの機能を果している運輸業者や通信業者、広告宣伝業者なども流通業者として重要な役割を果している。

## ◀ ボーナスを待つている大売出しのピラ ▶

6月は、サラリーマンにとつて待望のボーナスが出る月。現在の経済社会の中で、生活補給金といわれるこのボーナスは大変ありがたいものである。産業の種類によつては、その額もピンからキリまで、いろいろあろうが、その使途をあれこれと家ぐるみで計算してみるのも楽しみなものであるが、一旦手に入つてしまうとまことにアツクなく消費ブームの嵐の中にフツとんでしまう。もつとも夏のボーナスは、一般的に貯蓄型といわれるような、案外に堅実に貯め込んでいるかもしれない。

## ◀ ご立派な公約ドット名乗りあげ ▶

7月7日は、七夕さまだが今年は、第8回参院通常選挙の日にあたる。126の改選議席(全国区51人、地方区75人)を目指して、13日の公示を持ち兼ねた候補者が一斎に名乗りをあげた。16日にメ切られた。立候補者数は、全国区93人で競争率は1.8倍、地方区212人で競争率に2.8倍となり、従前の参院選挙の中では最低数の立候補者数とすること、いづれもまことにご立派な公約を掲げ

街頭に進出し、選挙民に訴えているが、この公約、当選までの公約とならないようお願いしたいものである。

## ◀ 人の世の虚しさ巨星天に散る ▶

6月5日、R・ケネディ氏が凶弾に倒る、まことにショッキングなニュースが、全世界の人々を驚かせた。ベトナム戦争や黒人に対する人種差別、ドル危機などの大きな問題をかかえての大統領選挙戦が有利に展開していたときだけに、5年前兄のケネディ大統領と同じテロの凶弾にあたら優秀な、若い生命が奮い去られようとは、米国といえども、今の世界中の何かが狂つているのではあるまいか。

## ◀ 水爆を持つて世界に名乗りあげ ▶

国内が、ガタガタとゆれ動いているフランスが、広島に投下された原爆の50倍もあると伝えられる水素爆弾を太平洋上で実験しようという発表があつた。現在の世界では、核を保有していない国は発言権がすこぶる弱いようで、フランスもまた核保有国として発言力を強め国内危機を乗り切ろうとするのか、現在の核保有国は米国、ソ連、中共、英国について5番目の核保有国となる。

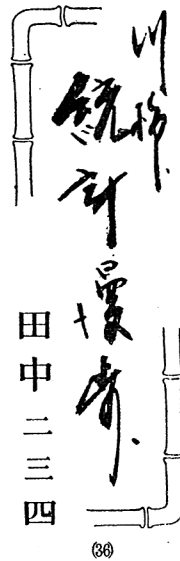
## ◀ ベトナムに砲撃ドロドロと続き ▶

いつまで続くのかベトナムの斗い、両国の和平会談が折角始まり、平和に対する話し合が、世界の願いとなつているのに、このところ首都サイゴンに対する解放軍の砲撃が活発化し、平和の願いもどこえやら、一般の市民にも死傷者が続出しているとのこと。真にベトナムに平和の訪れる日はいつだろうか。

## ◀ 世の中はどうなつてんの爆弾魔 ▶

6月16日曜、父の日の横須賀線の社内で、爆発が起き多くの死傷者を出した。時限装置による爆破事件として捜査がはじめられたが、本当に恐ろしいことである。平和だ平和だといつてはいるが、最近の社会には想像もつかないような事件が突然発生する。正常な人間では考えられそうもないことが、突発する。恐ろしいことだ。

最近の鉄道の爆破事件は、昭和42年3月東京駅でクズ入れ爆発、6月に山陽電鉄で車内爆発、7月房総線で鉄道線路が爆発、43年4月名古屋駅で新幹線ひかりの中で時限装置が発見、この1年半の間に5回もこの事件が発生のしているが、うち3件が未解決となつている。



60

# 第19回茨城県統計グラフコンクール募集要領きまる

**主催**  
茨城県・茨城県教育委員会・茨城県統計協会

**目的**  
県民に対する統計思想の普及向上と統計の表現技術の研さんおよび統計教育の推進に資するものとする。

- 応募資格**
- 第1部 小学校の児童（1年～3年）
  - 第2部 〃 （4年～6年）
  - 第3部 中学校の生徒
  - 第4部 高等学校以上の生徒・学生
  - 第5部 一般

**課題**  
各部とも自由とする。

ただし、

- ① 第1部、第2部の作品は、児童が観察した結果をグラフ化したものとする。
- ② 第3部の作品は、既存統計の利用または生徒が観察した結果をグラフ化したものとする。

**資料の規格**

- ① 第1部、第2部、第3部の用紙規格は、72.8cm×51.5cm（B2判仕上寸法）とする。
- ② 第4部、第5部の用紙規格は、103cm×72.8cm（B1判仕上寸法）とする。

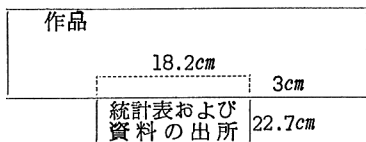
ただし各部とも紙質、色彩（単色にて可）は自由とするが裏面の板張り、また表面にセロハンカバーをつけることは認めない。

**送付先**  
茨城県統計課（水戸市三の丸1丁目5番38号）作品送付にあたっては、別記送付作品目録書を必ず添付すること。

**締切日**  
昭和43年8月31日まで（必着のこと）

**応募上の注意**

- ① 応募作品の裏面には、住所、氏名、性別、職業（児童生徒学生の場合は、所属学校名、学年）年齢を明記すること。  
なお、住所、氏名、学校名には必ず「ふりがな」をつけること。
- ② 各部とも必ず統計表を添付すること。ただし、自己の観察によらず他から資料を取った場合は、資料の出所も明記すること。  
統計表は25.7cm×18.2cm（B5判仕上寸法）の用紙に書き、作品の裏側に3cmの「のりしろ」ではりつけること。



(3) 応募点数については制限はしないが応募作品が2枚以上にわたるシリーズものは認めない。

## 9 指導上の注意

児童、生徒に指導する際は、次の事項に特に留意すること。

- (1) 資料の選択及び取扱い方に対する指導者（先生）の示唆助言等は差し支えないこと。
- (2) 表現（グラフ）の段階では、児童、生徒の自主性を尊重し、指導者（先生）が技法的に介入しないこと。

## 10 審査

(1) 審査員  
県統計課、県教育庁および県統計協会の役職員

- (2) 審査基準
- 応募作品は、次の基準によつて審査採点する。
- (イ) 資料の適正な選択と加工 50点
  - (ロ) グラフの表現技術 50点

なお、各部とも上位5点を選び第16回全国統計グラフコンクール（全国統計協会連合会主催により9月下旬に行なわれる）に推薦する。推薦にあつては、応募資格における第1部、第2部を第1部（小学校全学年）としてあつかう。

## 11 入選発表

入選者の発表は、43年9月下旬に本人または所属学校長あて通知する。

## 12 入選区分

各部とも		
1 席	知事賞	1 点
2 席	教育長賞	2 点
3 席	統計協会長賞	3 点
佳作	統計協会長賞	5 点

なお、優秀な作品を数多く出品した学校に対しては「学校賞」として統計協会総裁から記念品および賞状を授与する。

## 13 応募作品の所属

応募作品の著作権は主催者に帰属する。

## 14 展示および表彰

昭和43年11月に開催予定の第10回茨城統計大会において行なう。

## 15 その他

不明な点については、県統計課（電話水戸(2)5505）に照会のこと。